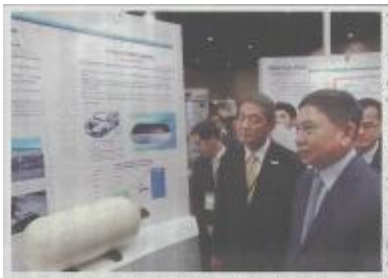
# Asian Productivity Organization
# “The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (10 June 2016, Japan)
Page: 2

## タイ・エコプロダクツ国際展

【バンコク・蒲坂哲司】タイのバンコク国際貿易展示場で開催されている「第10回エコプロダクツ国際展（EPPT2016）」にはタイ、日本などからの出展者数（企業などの団体）が一一一にのぼり、各ブースでは最先端の環境商品や技術、サービスなどをアピールし、来場者の関心を集めていた。

JFEグループは、これまで他社との共同ブースで出展してきたが、今回は規模を大幅に拡大し、初めて単独ブースで出展した。出展企業はJFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事、



JFEグループのブースを視察したプラチン・タイ副首相（右）と、南田一・緑の生産性諮問委員会会長

## JFEが初の単独出展

### グループ各社 製品・技術をPR

電等を、またマテリアルフローエリアでは製鉄所プロセスにおける環境負荷低減と資源有効活用や、鉄鋼スラグ製品「マリンブロック」等をそれぞれアピール。タイ関連のJFEグループ従業員数は2000人規模で、重要なマーケット。タイでは4輪車市場の拡大余地があり、ハイテン使用で自動車を軽量化し、燃費向上など環境負荷低減に繋がるメリットをPRした。ブースには270MPa級の軟鋼と、1180MPa級及び1470MPa級ハイテンのサンプルを展示し、ブース訪問者は曲げ体験を通じて、JFEスチールが生産している鋼板の強度を確かめていた。

JFEコンテイナー。今回、展示スペースの自動車エリアではハイテン（高張力鋼板）、天然ガス車用燃料タンク（CNGシリンダー）などを、資源循環エリアでは「こみ発電プラントやバイオマス発電などにマーケットがあり、16年に開設したバンコク事務所を主体にアピールを強化していく。また、JFE商事のタイ・コイルセンターであるSASC社や、バイオマス燃料となるヤシガラも紹介された。

ハイテンの強度を体感する来場者

JFEコンテイナータイランドがパルプの取り付け加工及び品質管理等を担う。すでに日本に輸出しており、早ければ2016年内にもタイ国内のOEM先（自動車メーカー）への販売を開始する見通し。

JFEエンジニアリングの「こみ発電プラント、バイオマス発電もPR。タイは日本に比べて電気料金が高く、発電はビジネスと捉えられている。「こみ発電プラント、バイオマス発電ともにマーケット開拓の余地があり、

EPPT2016の会場ではエコイノベーション、エコプロダクツ、エコサービスにゾーンが分けられており、自動車・輸送、建設資材、物流、エネルギーなど広範・多岐にわたる分野において、世界の代表的な企業が知識とテクノロジーを活用したソリューションを披露。来場者と出展者によるビジネスマッチングミーティング、メインステージでのイベントなどの特別企画も注目を集めていた。

(日刊産業新聞　2016 年 6 月 10 日付　2 面)